

酪連だより

乳牛用配合飼料「岡酪普及号」について

乳牛の飼料

維持飼料とは、乳牛のからだの健康を維持する為に必要な資料をいいます。生産飼料とは、乳牛が大きくなり泌乳し、子牛を産むのに必要な飼料をいいます。

乳牛に給与する維持飼料と生産飼料は、過不足なく、充足できる養分を含有していることが大切であり、牛乳生産費のうちで、飼料費の占める割合は、52%にも達するので最も留意しなければなりません。飼料費を経済的に賄うために、又草食動物である乳牛の健康を保つために、粗飼料（牧草、野草、飼料作物）を多給し、それで不足する養分を濃厚飼料で賄うことが必要です。

粗飼料も濃厚飼料も、多種類給与することが、乳牛の健康維持のこつです。「岡酪普及号」は栄養価の高いものを、11種類もおのおの特性を活かして配合してありますから問題はありません。粗飼料も種類だけでなく野草類、牧草、飼料作物（根菜を含む）等、種々のものの給与が必要です。

飼料給与の要点

飼料の給与は飼料計算をして、養分に過不足のないようにして下さい。飼料標準はNRC法（国家研究会議で定められた）が便利です。

自給飼料（粗飼料）を増産し、乳牛の維持飼料は勿論、生産飼料も牛乳10kg位までは、自給飼料で充足する。このことが黒字経営になるこつです。

濃厚飼料（岡酪普及号）の給与量は、泌乳量、妊娠の月令、粗飼料の種類及び収穫の時期によって異なりますから、乳牛個体の状態、時期によって加減して下さい。「岡酪普及号」は泌乳量によって1日3回に分けて粉状のままか、又は固練りにして給与して下さい。乳牛の飼料可食量は、乾物量（DM）で体重の3~4%（個体によって差がある）ですから、それ以上の飼料は食べきれず、養分が充分でもDMが不足すれば、空腹感を起します。

飼料を給与する場合可消化粗蛋白（DCP）が不足すれば、産乳量が減り可消化総栄養分（TDN）が不足すれば乳牛が痩せます。どちらも多めに給与する必要があります。又乳牛は個体によって消化力に差があるので、乳牛の状態をよく観察して、飼料の給与量を、決定する必要があります。大体計算必要量の1割程度増給することが常識となっております。

配合割合	穀類	20%
	糖蜜飼料	7"
	糟糠類	20"
	製造粕類	27"
	油粕類	22"
	炭酸カルシウム	3"
	塩	1"
保証成分	粗蛋白質	15%以上
	粗脂肪	2"
	粗繊維	14以下
	粗灰分	10"
可消化成分	可消化粗蛋白質	13.7%
	養分総量	69"
乳牛用	磷	0.7"
	カルシウム	1.4"

飼料給与の計算例

乳牛の生体量500Kg, 産乳量20Kg (乳脂率3.5%) とすれば

種別	D.M	D.C.P	T.D.N
維持飼料体重500Kg	Kg	Kg	Kg
		0.296	3.454
生産飼料泌乳量20Kg (3.5%)		0.860	6.000
小計	15~20	1.156	9.454
増給1割合計Kg	15~20	1.2716	10.3994

飼料給与計算の基礎

種別	D.C.P	T.D.N
維持飼料体重100Kgにつき	Kg	Kg
	0.0592	0.6908
生産飼料牛乳1Kg (乳脂率3.5%)につき	0.0430	0.3000
妊娠飼料分娩予定3カ月前より	0.2720	2.7220

(注) 妊娠飼料は胎児の容積だけ消化器が圧迫されるので、濃厚飼料で賄うようにする。麦類を3.5Kgを増飼すればよろしい。

給与例2 4月～6月給与

種類	量	D. M	D. C. P	T. D. N
	Kg	Kg	Kg	Kg
野 乾 草 (山地)	8	6.920	0.120	3.032
イ タ リ ア ン 生	15	3.750	0.300	2.160
チ モ シ ー 生	4	1.200	0.048	0.676
れ ん げ 生	8	0.888	0.184	0.696
ビ ー ト パ ル プ	1.5	1.332	0.090	1.050
岡 酪 普 及 号	4	3.496	0.548	2.760
計		17.586	1.290	10.374

給与例1 1月～3月給与

種類	量	D. M	D. C. P	T. D. N
	Kg	Kg	Kg	Kg
稲 わ ら	3	2.595	0.030	1.113
野 乾 草	4	3.460	0.144	1.724
イ タ リ ア ン	10	2.500	0.200	1.440
芋づるエンシレージ	12	2.400	0.132	1.104
な た ね 青 刈	10	1.410	0.200	0.850
ビ ー ト パ ル プ	3	2.640	0.180	2.100
岡 酪 普 及 号	3	2.622	0.411	2.070
計		17.627	1.297	10.401

給与例4 10月～12月給与

種類	量	D. M	D. C. P	T. D. N
	Kg	Kg	Kg	Kg
野 乾 草 (畦畔)	10	8.650	0.360	4.310
えん麦 エンシレージ	15	4.165	0.165	1.950
か ぶ	15	1.200	0.105	1.050
岡 酪 普 及 号	5	4.370	0.685	3.450
計		18.375	1.3150	10.760

給与例3 7月～9月給与

種類	量	D. M	D. C. P	T. D. N
	Kg	Kg	Kg	Kg
生 野 草	5	1.000	0.085	0.515
青刈デントコーン	40	7.960	0.360	5.480
つりとり甘藷	15	2.100	0.255	1.290
青 刈 牧 草	10	2.160	0.200	1.250
岡 酪 普 及 号	3	2.622	0.411	2.070
計		15.842	1.311	10.605

お知らせ!!

昭和 39 年度春期高等登録体格審査 (第 2 次分) は日本ホルスタイン登録協会より中村敬止中央審査委員を迎え、別紙日程表のとおり実施します。

審査地域の方々には、多数受検されるよう希望いたします。

春期乳牛高等登録体格審査 (第 2 次) 日程

月 日	審 査 場 所	予 定 頭 数	備 考
6月4日	倉敷市, 芳井町	4	岡山発8.09倉敷着8.28 井原泊 芳井着14.00
5日	井原市, 矢掛町	10	笠岡泊
6日	笠岡市, 里庄町	8	岡山泊
7日	休		"
8日	北房町, 有漢町, 巨瀬町	7	岡山発7.55北房着10.30 高梁泊
9日	成羽町, 宇治町, 高梁市	10	"
10日	備中町, 川上町	8	"
11日	賀陽町	5	"
計		52	